

1 調査名称：沖縄市総合交通戦略策定調査

2 調査主体：沖縄市

3 調査圏域：沖縄市全域

4 調査期間：平成27年度

5 調査概要：

慢性化する交通渋滞の解消や環境問題への配慮、多様化する都市機能等への対応を図り、交通の円滑化と活力ある地域づくりに向けて、沖縄市のまちづくり関連施策や国・沖縄県で進められている施策を踏まえ、様々な交通関連施策を計画的かつ戦略的に展開するために実施するものである。

■平成27年度調査概要

沖縄市交通基本計画に基づき以下を実施し、総合交通戦略を策定。

- ・ 施策パッケージ及び施策の有益性の検討
- ・ 各施策のスケジュール及びフォローアップ手法の検討
- ・ パブリックコメントの実施

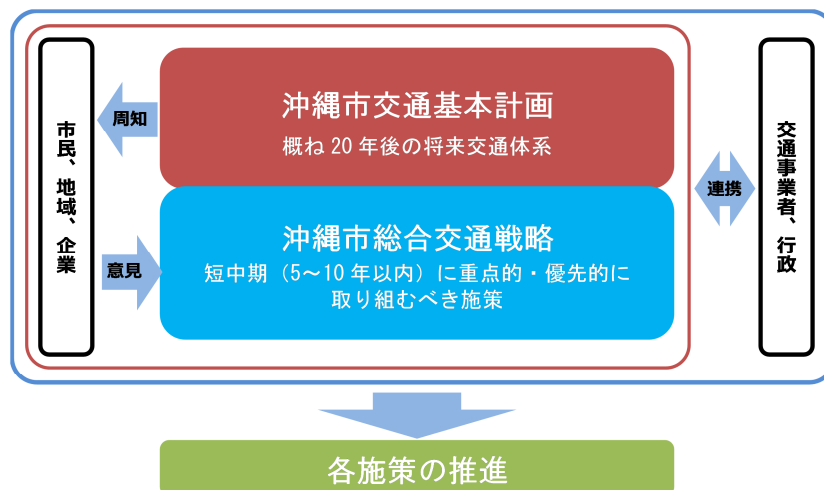


図 交通施策の展開イメージ

I 調査概要

1 調査名称：沖縄市総合交通戦略策定調査

2 報告書目次

第1章 沖縄市総合交通戦略について

- 1-1. 沖縄市総合交通戦略策定の目的
- 1-2. 計画の位置づけ
- 1-3. 計画の区域
- 1-4. 目標年次

第2章 沖縄市総合交通戦略

- 2-1. 策定方針
- 2-2. 交通施策方針に基づき実施する施策と計画目標
- 2-3. 計画目標を達成するための施策パッケージと実施プログラム
- 2-4. 計画目標の達成状況を評価するための指標、目標値
- 2-5. フォローアップ

3 調査体制

| |
|---|
| <p>沖縄市総合交通戦略検討委員会（委員会） （委員長：琉球大学 名誉教授 上間 清）</p> |
| <p>沖縄市総合交通戦略検討委員会（幹事会） （幹事長：沖縄市 建設部 都市整備室長 次長兼室長 川満 輝繁）</p> |
| <p>沖縄市総合交通戦略検討委員会 事務局 （沖縄市 建設部 都市整備室 都市計画担当）</p> |

4 委員会名簿等：

| 委員会名簿 | | | | |
|-------------------------|-------|--------------------------|---------|--------|
| No. | 種別 | 所属 | 職名 | 氏名 |
| 1 | 学識経験者 | 琉球大学 | 名誉教授 | 上間 清 |
| 2 | | 琉球大学 工学部 環境建設工学科 | 助教 | 神谷 大介 |
| 3 | 市民団体 | 沖縄商工会議所 | 中小企業振興部 | 平田 嗣森 |
| 4 | | 沖縄市自治会長協議会 | 会長 | 喜友名 秀樹 |
| 5 | | NPO法人バリアフリーネットワーク会議 | 理事長 | 親川 修 |
| 6 | バス事業者 | 沖縄県バス協会 | 専務理事 | 慶田 佳春 |
| 7 | 国 | 沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課 | 課長 | 豊見山 秀樹 |
| 8 | | 沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 | 課長 | 崎間 斉 |
| 9 | | 沖縄総合事務局 運輸部 企画室 | 室長 | 成田 佳奈子 |
| 10 | 県 | 沖縄県 企画部 交通政策課 | 課長 | 真栄里 嘉孝 |
| 11 | | 沖縄県 土木建築部 都市計画・モノレール課 | 課長 | 宜保 勝 |
| 12 | | 沖縄県 土木建築部 道路街路課 | 課長 | 上原 国定 |
| 13 | 市 | 沖縄市 建設部 | 部長 | 宮里 善伸 |
| 14 | | 沖縄市 企画部 | 部長 | 源河 朝治 |
| 15 | | 沖縄市 市民部 | 部長 | 伊佐 剛 |
| ※会長・・・上間名誉教授、副会長・・・神谷助教 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 幹事会名簿 | | | | |
| No. | 種別 | 所属 | 職名 | 氏名 |
| 1 | 市 | 沖縄市 建設部 都市整備室 | 次長兼室長 | 川満 輝繁 |
| 2 | | 沖縄市 建設部 都市整備室 都市計画担当 | 技幹 | 花城 博文 |
| 3 | | 沖縄市 建設部 道路課 | 次長兼課長 | 比嘉 直樹 |
| 4 | | 沖縄市 企画部 政策企画課 | 課長 | 神山 直也 |
| 5 | | 沖縄市 企画部 プロジェクト推進室 | 室長 | 山内 強 |
| 6 | | 沖縄市 市民部 市民生活課 | 課長 | 盛島 久代 |
| 7 | | 沖縄市 健康福祉部 高齢福祉課 | 課長 | 富原 守友 |
| 8 | | 沖縄市 健康福祉部 障がい福祉課 | 課長 | 内間 安研 |
| 9 | | 沖縄市 経済文化部 中心市街地活性化推進課 | 課長 | 照屋 隆秀 |
| 10 | | 沖縄市 教育委員会 指導課 | 課長 | 宮城 康人 |
| ※幹事長・・・都市整備室長 | | | | |

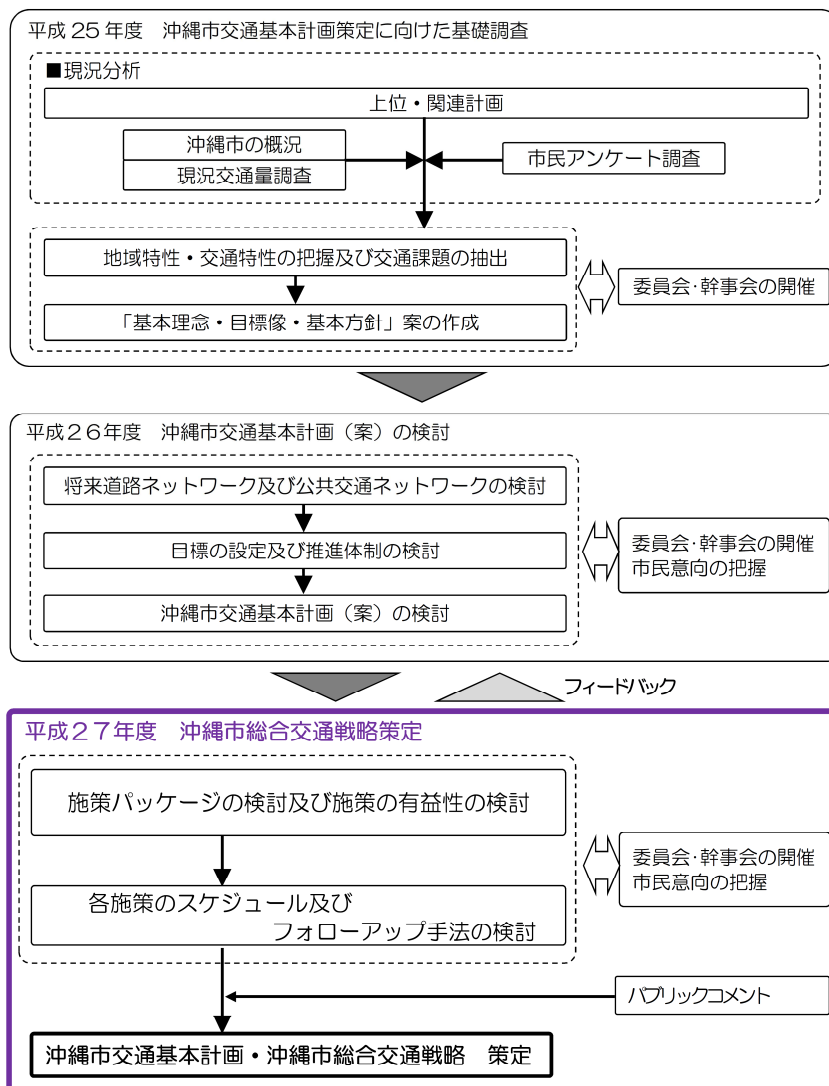
II 調査成果

1 調査目的

「沖縄市交通基本計画」で定めた基本理念や目標像の実現に向けて、限られた財源の中でより高い成果を上げるためには、既存ストックの有効活用や関係主体との連携・調整、選択と集中による投資など、重点的・効率的に施策を推進することが必要である。

そこで、「沖縄市交通基本計画」の計画期間（概ね20年）のうち、短中期（5～10年以内）に重点的・優先的に取り組むべき施策について、具体的な内容や整備・実施目標時期を明示した「沖縄市総合交通戦略」を策定し、交通社会に参画する市民や地域、企業、交通事業者及び行政等の関係者が協働・連携し、総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図ることを目的とする。

2 調査フロー



3 調査圏域図

調査圏域：沖縄市内全域



図 沖縄市の位置